即チ野菜ハ水ヲタツブリ入レテ煮ラレ爲ニ「Vitamin」並ニ無機鹽ノ總テヲ失フ結果トナリコレガ補充ヲ果實ニヨリナサルベキナルニモ拘ラズ、スペイン人ハソレヲ利用シナカツタト述ベテ居ル。次ニ重要ナ點ハ飲料水デ、コレハ齒周組織炎ト大ニ關係ガアルトノ事デアアル。最後ニ治療法デアアルガ先ヅ第1トシテ患者ノ全身狀態ヲ觀察ス。第2ハ惡影響ヲ及ス原因ヲ除去スル。コ、デハ水ノ法外ナル Mineralstoffgehaltガ問題ニナル。第3トシテ榮養即チ毎日食事ノ外ニ煮ナイ所ノ野菜ト果實ヲトラセ、生ノマ、スツタ人蔘ヲ食サセ、野菜ハ短時間煮ル事ヲ命ジ、更ニ精練セル糖トコレカラ製造シタ菓子ハ最少ニ減セシメテオル。次ニ著者ノ獨特ナ治療法トシテ朝食ニ4—6ノ「ネーブル」汁ヲ飲マセ、場合ニヨリテハ「バター」ノツイタ黒「パン」ヲ食サセセ尙晝間ニ度々「オレンジ」ヲススメタ事デアアル。ソノ結果1年後ニハ骨萎縮ニ於テハ完全ナル停止が見ラレ、炎症モ起ツテ居ナイ事ヲ確證スル事ガデキタト云ツテオル。之ハ第1ハMineralsalzノ大ナル運搬力ニヨリ分解產物ノ結合ヲ處理シ排泄スル事ト第2ハ「ネーブル」ニ含マレテ居ル Vitamin Cニヨリ炎症ガ阻止サレ新陳代謝ニ都合ヨク影響サレル結果ニヨルト主張シテオル。次ニ正シイ榮養ニ依ルバカリテハ治療ニ達シ得ラレナイトノ考ノ下ニ全身ノ療法トシテ「ホルモン」ノ機能缺如ト考ヘラレル男性ニ對シテハ Testespräparateヲ、女性ニハ、Ovarialpräparateヲ注射シ、大抵ノ場合好結果ヲ得タ。尙著者ハ神經症狀、呼吸障礙ノ患者デ齒周組織炎ヲ有スル者ニ、自律神經系統ニ對スル藥物的電氣的療法ヲ行ツテオル。以上ノ全身療法ニ加フルニ局所ノ療法トシテ動搖セル齒牙ヲ固定スル事ヲ主張シ、更ニ咬合全體ニ完全ナル咬合ヲ與ヘル事ノ必要ヲ主張シテ居ル。

(吉池一郎)

補綴科

〇「ポーセレンブリッジ」ノ現状

Present Status of Porcelain Bridgework

By William A. Squires, D. D. S.,

New York City. (Journ. of Amer.

Dent. Ass. 1938)

2齒ノ「ポーセレンブリッジ」ノ場合ヲ私ガ思フ通りニ述ベテ見ヤウ。コノ際吾人ガ直面スル條件ハ、

機能的ノコトヨリモ主ニ審美的ノコトデアアル。私ノ意見デハ全「ポーセレン」型モ、金屬ノ骨組ニ焼付ケル型モ、吾人ガ要求スル審美的價値ヲ提供シナイト思フ。即チコレ等ノ2ツノ型ノ修復ニ於テハ色、肌理切端角ノ傾斜、齒牙ノ形態等ハ巧ミニ再製出來ルカモ知レナイガ、「ダミー」ト「ジャケツクラウン」トノ接觸點ニ於テ tacky ナ外觀ヲモタラシ、ソレガ審美的效果ヲ減少スル。私ノ知ル限りニ於テ調和ノトレタ綺麗ナ、自然ナ接觸點ト齒間空隙ヲ再現スル方法モ手段モ適當ナ裝置モナイヤウデアアル。「ポーセレンブリッジ」デアラウト precision bridgeデアラウト或ハ普通ノ「ゴム」ノ局部義齒デアラウト、人工齒トソレニ隣接スル天然齒トノ接觸點ハ大抵ハ忽ニサレテキル有様デアアル。此處ニ於テ套管狀「ブリッジ」(Thimble bridge)ハ2單位カラ出來テキルノデ、上手ニ作レバ幾分ナリトモ接觸點ノ問題ヲ解決スルコトガ出來ル。

私ガ提供セントスル「ブリッジ」ハ金屬骨組ノ長所ニ、套管型ノ contactpointノ姿體トヲ加ヘ、美ノタメニ強サヲ犠牲ニシヤウトスル人々ト、強サヲ要求スル人々トノ調和ヲ助ケテキル。コノ修復ニ對スル技術ヲ約言スレバ次ノ様デアアル。

齒塞ヲ形成スル場合ノ Carmichael 法ノ原理ハ、捻轉力ヲ防止スルノニアル。コレニハ非常ニ丈夫ナ金屬ノ模型ガ必要デアツテソノ上ニ「プラチナイリヂウム」ノ matrixガ適合サレル。ソノ方法ハ分離シタモノ、分割石膏印象ガ作ラレル。金屬形成物ヲ印象カラ除去シタ後鑄造用「ワックス」ガソノ型ノ中ニ注ガレル。鑄造用「ワックス」ヲ注グ石膏ノ印型ハ極メテ溫カク且濕ラセテオク様ニ注意セネバナラナイ。鑄造用「ワックス」ハ實際ニハ4分ノ數「インチ」收縮スル。ケレドモ最後ニ「アマルガム」模型ノ上テ壓接サレルノデ特別ノ差異ハ示サナイ。金屬模型ヲ得タラ 0.005ノ錫箔デ型ヲ作ル。コノ型カラ 50%, 0.004ノ「プラチナイリヂウム」片ガ金屬模型ニ適合サレル。金屬模型ハ固イ金屬ヲ適合スルタメニ必要ナ粗イ槌打ヤ壓接ニ抵抗スル程ノ固イ金「アマルガム」デ作ラレル。コノ「プラチナイリヂウム」帽(Coping)ヲ作ルニアマツテ Bandノ端ヲ遊離シテオイタ方ガ宜シイ。即チ兩端ヲ鑲著シナイデオイテ適合ノ經過ノ間引ク力ニ自由ニ從フ様ニシテオク。「プラチナイリヂウム」ノ帽子ガ固イ金屬模型上ニ壓接サレタラ 0.030 15%ノ「ア

ラチンイリヂウム」ノ針金が金属模型ノ舌側部ノ肩ノ所ニ適合サレル。コレハ「プラチナ」ノ鋸ノ小片デトメテオク様ニシタ方が宜シイ。而シテ Carmichael 氏形成ノ shoulder ニヨク適合シタ方形ノ針金ニシタ方が確カデア。方形ノ針金が「プラチナイリヂウム」ノ帽子ニトメラレタ後「アマルガム」模型ノ上ニ置キ壓接スル。コノ際 0.002 ノ紙片ヲ「アマルガム」模型ト「プラチナイリヂウム」帽トノ間ニオク。ソノ目的ハ「プラチナイリヂウム」帽ノ下ニオク 0.001 ノ厚サノ「プラチナ」ノ Matrix ヲ入レルタメデア。

「プラチンイリヂウム」帽ヲヨク適合壓接シ「プラチンイリヂウム」ノ針金ト鑲著シタ後齒牙ノ接觸點ヲ定メル。ソコニ「プラチンイリヂウム」ノ小片ヲ帽ニ鑲著スル。ソレガ濟メバ例ノ 0.001 ノ「プラチナ」Matrix が模型ノ上ニ作ラレ「プラチナイリヂウム」帽ヲソノ上ニオク。コノ2ツハ Sticky Wax デ固著シ形成模型カラ取除カレル。不透明ナ「ポーセレン」ノ非常ニ薄イ層ヲ普通ノ「ヂャケットクラウン」ヲ作ルト同様ノ方法デソノ上ニ焼付ケル。「ヂャケットクラウン」ヲ適當ノ輪廓ノ他ヲナシ終ヘタラ石膏デモ「モデリング」デモヨイガ兎ニ角ソノ何レカテ分割印象ヲ、「ヂャケットクラウン」ト共ニ、「ダミー」ガ築カルベキ場所ニアル他ノ齒牙ヲモ含メテ採得スル。コノ印象ニ cristobalite 材ヲ注グ。コノ材料ハ非常ニ滑カナ模型ヲ與ヘ又「ダミー」ガソノ上ニ築カレ得ルダケノ充分ニ高い温度テ溶解シ難イモノノ1デア。

難溶性ノ模型ガ得ラレタ後「ポーセレン」ノ收縮ヲ見越シテ「ダミー」ガ築カレル場所ニ餘地ヲ増スタメニ模型ヲ削ル。

「ダミー」ハ一般ノ「ポーセレン」ノ方法テ難溶性模型ノ上ニ作ラレル。ソシテ華氏ノ 1750° カラ 1800° ノ温度ニスル。「ポーセレンダミー」ヲ模型上ニ築ク前ニ模型ニ「サンダラック」ヲ塗ツテオク。コレハ「ポーセレンダミー」上ニ於ケル被覆物ノ毛細管作用ヲ防グタメデア。 「ダミー」ガ模型上テ 1750°—1800° テ焼ケルト難溶性模型カラ取除ク。若シ必要ナラバツケ足シタリ、削ツタリシテ適當ナ輪廓ニスル。ソコデ「ダミー」ヲ前以テ少量ノ「tragacanth ゴム」ト混合シテオイタ珪石ノ砂ノ中ニ包埋スル。少量ノ「tragacanth ゴム」ヲ珪石ノ砂ノ中ニ加ヘル目的ハ、或程度ノ成型性ヲ砂ニ與ヘルタメデア。素焼ノ「ダミー」ハソレカラ砂ノ上ニ適合サレ「ダミー」上ニ少シモ緊張ヲ加ヘ

ル事ナク、砂ヲ作ラレタ難溶性支臺ノ上ニ一層築ニオケル様ニ作ラレル。「ダミー」ハ術者ノ技術ヤソノ他ノ變化シ得ル環境ニ從ヒ 2340°F カラ 2400° ノ間ノ或焼上温度ニモタラサレル。「ダミー」ヲ焼イタラ切端角ノ勾配ヤ顎堤ノ關係ヤ contactpoint ナドニツイテ適當ナ輪廓ニ削リ次イテ研磨スル。研磨ノ際ニ持チヨクスルタメニ diamond cement ニ熱クシテオイテ固定スル。「ヂャケットクラウン」ト「ダミー」トヲ集メテ「ブリッジ」ニシタ時ニ丁度ヨイ contactpoint ヲ持ツタメニ雙方トモ充分氣味ノ大サニスル様注意セネバナラナイ。

「ヂャケットクラウン」ガ終リ「ダミー」ガ完成シテ磨カレルト「ダミー」ノ「ヂャケットクラウン」トノ接觸點ニ「ドリル」デ穴ヲアケテ「ヂャケットクラウン」ノ中ニ埋ツテキル白金「イリヂウム」棒ニ向フ凹所ヲ作ル。「ヂャケットクラウン」ト「ダミー」ガ contact ソノ他テ適當ナ大サニ作ラレルト適當ノ單色ハ數種ノ色ノ 1700°F ノ「ポーセレン」ノ少量ヲ少量ノ「tragacanth ゴム」ト混合シ「ダミー」ノ凹所ニ插入スル。「ヂャケットクラウン」ト「ダミー」ハ適當ナ關係ニ模型上ニ置キ tragacanth ト「ポーセレン」ガ完全ニ乾燥スルマデ乾カス。

「ブリッジ」ヲ模型カラ容易ニ確實ニ取出セル様ニスルタメニ木或ハ金属ノ小片ヲ「ダミー」ト「ヂャケットクラウン」ニ固定スル。「ブリッジ」ガ模型カラ除去サレバ標準埋没材料中ニ埋没スル。「ヂャケットクラウン」モ「ダミー」モ共ニヨク蔽ハレルヤウニシ 1700° ノ「ポーセレン」ガ加ヘラレル Bridge ノ部分ハ露出シタ儘ニシテオク。乾燥後埋没劑ヲ漸次ニ熱シ「ポーセレン爐」ノ中ニ入レ 1500°F テ焼ク。1500°F テ 1700°F ノ「ポーセレン」ガ硝子化シ始メル。コレハ若シ必要ナラバ必要ナ所ニ更ニ「ポーセレン」ヲ加フベキ機會ヲ與ヘルモノデア。ソノ後爐ニモドシ 1700°F ノ焼上温度テ焼上ゲル。(岡田代之助)

矯 正 科

○犬ノ齒牙ノ「レ」線寫眞ノ撮影法
Technic for Intra-oral Radiography of living
dogs. Koch, W. E. (Journ. of Dent.
Research, Vol. 17, No. 3, p. 173, 1938)
齒科醫學ノ實驗用動物トシテ犬ガ用ヒラレルコト